

## 集団的自衛権 について



- ・「集団的自衛権の行使により、自衛官が殺され、人を殺す」などということが、絶対あってはならない。
- ・日本の NGO は戦争に加担しない国の国際協力 NGO として信頼され、非軍事の国際貢献を展開してきた。その信頼を失ってはならない。

〈質問は閣議決定される前に行なったものです。〉

安倍内閣は集団的自衛権の行使を容認する閣議決定をしようとしています。これは日本の政治の基本である立憲主義、民主主義の根底に係る問題だと思いますが、長らく政治家として活躍されてきた区長は、どのようにお考えでしょうか、お聞かせください。

区長は答えず、総務企画部長が「推移を見守りたい」と答弁。安倍内閣の強引さには、何人もの地方自治体の首長が苦言を呈していたが、残念。

### この夏、かみしめたい言葉

今、進められている集団的自衛権の行使容認は、日本国憲法を踏みしめる暴挙です。

武器製造、武器輸出は戦争への道です。いったん戦争が始まると、戦争は戦争を呼びます。歴史が証明しているではないですか。日本の未来を担う若者や子どもたちを脅かさないでください。

(8月9日長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典被爆者代表 城台美弥子さんの「平和への誓い」から)

## 認知症患者 への支援



## 行方不明の搜索に区民の協力を 求める体制を

認知症で行方不明の方の早期発見のために理解ある区民にメール配信等で協力をお願いする体制を作るべき。また、声掛けの模擬訓練を実施して理解を広めるべき。

答：メール配信等を具体化していく。

今年度の声かけ訓練は広く区民に広報する。

## 子ども向け認知症サポーター養成講座を

小中学校向け認知症サポーター養成講座は、地域づくりとしても、人権講座としても他人への思いやりを考えるよい機会になる。認知症患者にとっても子どもとのふれあいは効果がある。教育委員会としても普及を支援するべき。

答：高齢者への尊敬や感謝の心が育まれた。

今後他校に広めるための課題を検討する。



開始まで1年半

## 共通番号制度 個人情報保護の漏えいや 不正利用を防ぐ対策を



社会保障・税共通番号制度は、個人情報の流出や、なりすましによる犯罪、国家による国民の監視など、不安が指摘されている。ハンドブックの作成や区職員の研修などを行っている自治体があるが、荒川区での準備状況は？

区：庁内検討会議で検討を進めている。

職員の意識向上のための研修、チェック体制の強化など万全の対策を講じていく。